

第66回 日本社会医学会総会

市民公開講座

優生保護法下での不妊手術に対する社会医学会の 責任ある立場を考える
～「私たち社会医学会が何故この問題に向き合えなかったのか」を問う～

9/6 (土)

キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室
(京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939、
京都駅徒歩5分)

※公共交通機関でお越しください



アクセスマップ

13:30～16:30(受付開始13:10)

演題	演者	
優生保護法問題に対する きこえない者の思いと 全日本ろうあ連盟の取り組み	石野富志三郎	全日本ろうあ連盟参与、 優生保護法対策チーム
優生保護法と医師の責任、 法律家の責任、教師の責任	藤原精吾	旧優生保護法事件 兵庫訴訟原告弁護団長
学会として歴史を振り返る	高鳥毛敏雄	日本社会医学会 理事長
産婦人科の現場と旧優生保護法 ～何が起きて何が終わっていないか	船山由有子	坂総合病院 産婦人科

各学会の声明の紹介、指定発言、質疑応答、まとめ

参加無料

申し込み不要

手話通訳・文字情報保障あり

主催

第66回日本社会医学会総会
現地準備委員会

後援

(申請中含む)

一般財団法人全日本ろうあ連盟
一般社団法人全国手話通訳問題研究会
一般社団法人日本手話通訳士協会
京都新聞
公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団

お問い合わせ

第66回日本社会医学会総会 現地準備委員会

事務局：佛教大学 保健医療技術学部

E-mail: socmed66@belle.shiga-med.ac.jp